

種目【道徳】(1/4)

調査内容	2 東書	17 教出																																																
1-(1) ・現代的な課題に問題意識をもち多面的・多角的に考えるための教材の内容、分量、構成、学習の進め方の提示等	<p>■現代的な課題に対応した教材数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いじめ関連</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>生命尊重</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>【いじめ関連教材の主な内容項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A-1 自主、自律、自由と責任 (6) ・C-11 公正、公平、社会正義 (2) ・A-5 真理の探究、創造 (1) <p>・複数の教材とコラムでユニットを編成し、目次と扉に「いじめのない世界へ」と表記している。(例)1年 p.21</p> <p>・読み物教材、イラスト教材、漫画教材、コラム、自分の考えを記述する欄を位置付けている。(例)1年 p.22~p.28</p> <p>■道徳科の学習の進め方</p> <p>巻頭に「道徳の授業はこんな時間に」のページを設け、道徳の学習の進め方を3つのステップで記載している。また、2つの学習活動の例を記載している。</p>		1年	2年	3年	合計	いじめ関連	3	3	3	9	生命尊重	3	3	3	9	<p>■現代的な課題に対応した教材数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いじめ関連</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>生命尊重</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>【いじめ関連教材の主な内容項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B-9 相互理解、寛容 (3) ・C-11 公正、公平、社会正義 (3) <p>・複数の教材とコラムでユニットを編成し、目次と教材の上部に「いじめをなくそう」と表記している。(例)1年 p.22</p> <p>・読み物教材、漫画教材、コラム、自分の考えを記述する欄を位置付けている。(例)1年 p.22~p.33</p> <p>■道徳科の学習の進め方</p> <p>巻頭に「さあ、道徳を始めよう！」のページを設け、道徳の学習の進め方を5つのステップで記載している。また、話し合いのポイントを記載している。</p>		1年	2年	3年	合計	いじめ関連	2	2	2	6	生命尊重	3	2	2	7																		
	1年	2年	3年	合計																																														
いじめ関連	3	3	3	9																																														
生命尊重	3	3	3	9																																														
	1年	2年	3年	合計																																														
いじめ関連	2	2	2	6																																														
生命尊重	3	2	2	7																																														
1-(2) ・取り上げられている教材の内容項目別の分量	<p>■視点ごとの教材数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A 自分</th> <th>B 人</th> <th>C 集団</th> <th>D 自然</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>14</td> <td>7</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>14</td> <td>7</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>14</td> <td>7</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table> <p>■重点としている内容項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・D「生命の尊さ」(全学年に3教材) ・A「節度、節制」(2つの学年に3教材) 		A 自分	B 人	C 集団	D 自然	合計	1年	7	7	14	7	35	2年	7	7	14	7	35	3年	7	7	14	7	35	<p>■視点ごとの教材数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A 自分</th> <th>B 人</th> <th>C 集団</th> <th>D 自然</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>12</td> <td>7</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>14</td> <td>6</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>13</td> <td>9</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table> <p>■重点としている内容項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B「思いやり、感謝」、C「社会参画、公共の精神」、D「生命の尊さ」、D「自然愛護」(1つの学年に3教材) 		A 自分	B 人	C 集団	D 自然	合計	1年	8	8	12	7	35	2年	8	7	14	6	35	3年	7	6	13	9	35
	A 自分	B 人	C 集団	D 自然	合計																																													
1年	7	7	14	7	35																																													
2年	7	7	14	7	35																																													
3年	7	7	14	7	35																																													
	A 自分	B 人	C 集団	D 自然	合計																																													
1年	8	8	12	7	35																																													
2年	8	7	14	6	35																																													
3年	7	6	13	9	35																																													
1-(3) ・登場人物に自我関与する学習、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習の位置付け	<p>【自我関与】全ての読み物教材に「考えよう」を設け、登場人物に自我関与を促す発問を位置付けている。(例)1年 p.11</p> <p>【問題】全ての学年で問題解決的な学習対応教材を2時間以上配置している。(例)1年 p.25</p> <p>【体験】全ての学年で役割演技を含めた体験的な学習対応教材を2時間以上配置している。(例)1年 p.134</p>	<p>【自我関与】全ての読み物教材で、登場人物の心情や判断の理由を考える発問を位置付けている。(例)1年 p.11</p> <p>【問題】全ての学年で問題解決的な学習対応教材を3時間以上配置している。(例)1年 p.22</p> <p>【体験】全ての学年で役割演技を含めた体験的な学習対応教材を1時間以上配置している。(例)1年 p.58</p>																																																
2-(1) ・個で考え、議論する道徳の充実を図るための学習展開の構成	<p>■各教材の学習展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材最後の「考えよう」には、自我関与したり、体験的、問題解決的に考えたりする発問、「見つめよう」には、自分を見つめて考える発問、「ぐっと深める」には、さらに考えを深める発問を位置付けている。 <p>(例)1年「2本が泣いています」P.14</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視点を示すマークと主題を位置付けている。 ・本文の前に二次元コードを位置付けている。 ・展開(1)終末(2)の過程に発問を位置付けている。 ・イラスト(3)、文章で構成している。 	<p>■各教材の学習展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材の最初に、主題に関わる発問を位置付けている。また、教材最後の「学びの道しるべ」には、問題意識をもつための発問、自分を見つめて考える発問、自分を振り返る発問を位置付けている。 <p>(例)1年「2おはよう」P.12</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視点を示すマークを位置付けている。 ・本文の前に二次元コードを位置付けている。 ・導入(1)展開(2)終末(1)の過程に発問を位置付けている。 ・イラスト(3)、文章で構成している。 																																																
2-(2) ・一人一人の学習状況等についての評価	<p>■学びの振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の巻末に「自分の学びをふり返ろう」を位置付けてあり、学期の終わりや長い休みの前に、その期間で心に残ったことをまとめたり、道徳の学習を振り返って、学んでよかったこと、今後の道徳科の授業にどのように取り組むかを記述したりするページを配置している。 	<p>■学びの振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の巻末に「道徳科の学びを振り返ろう」が位置付けてあり、学期の終わりや学年末に、心に残った教材や考えさせられた教材を選び、その後の生活とつなげて振り返ったり、自分が成長したと思うことを振り返って記述したりするページを配置している。 																																																
2-(3) ・ICT(二次元コード)の活用	<p>■二次元コードの個数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個数</td> <td>47</td> <td>47</td> <td>45</td> <td>139</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	合計	個数	47	47	45	139	<p>■二次元コードの個数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個数</td> <td>52</td> <td>57</td> <td>53</td> <td>162</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	合計	個数	52	57	53	162																												
	1年	2年	3年	合計																																														
個数	47	47	45	139																																														
	1年	2年	3年	合計																																														
個数	52	57	53	162																																														
3-(1) ・教科書の大きさ、ページ数、重量	<p>■大きさ：210mm×257mm</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>AB判</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総ページ</td> <td>197</td> <td>205</td> <td>205</td> </tr> <tr> <td>重量(g)</td> <td>374.4</td> <td>387.1</td> <td>386.7</td> </tr> </tbody> </table>	AB判	1年	2年	3年	総ページ	197	205	205	重量(g)	374.4	387.1	386.7	<p>■大きさ：182mm×257mm</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>B5判</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総ページ</td> <td>200</td> <td>192</td> <td>192</td> </tr> <tr> <td>重量(g)</td> <td>374.2</td> <td>362.0</td> <td>361.2</td> </tr> </tbody> </table>	B5判	1年	2年	3年	総ページ	200	192	192	重量(g)	374.2	362.0	361.2																								
AB判	1年	2年	3年																																															
総ページ	197	205	205																																															
重量(g)	374.4	387.1	386.7																																															
B5判	1年	2年	3年																																															
総ページ	200	192	192																																															
重量(g)	374.2	362.0	361.2																																															
3-(2) ・文字の大きさ、字間、行間等	<ul style="list-style-type: none"> ・本文には、UDフォントを使用している。 ・UDデザインに配慮している。 ・本文直下、5行ごとに行番が付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文には、UDフォントを使用している。 ・UDデザインに配慮している。 ・本文直下、5行ごとに行番が付いている。 																																																
3-(3) ・目次、巻末資料等の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・目次は4つの視点別に教材を色分けしている。 ・巻末には4つの視点別の教材一覧表がある。 ・巻末付録には「SDGs」に関連する教材と授業で活用できる「心情円」がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目次は4つの視点別に教材を色分けしている。 ・目次には教材の冒頭についている4つの視点のマークの説明を記載している。 ・巻末には4つの視点別の教材一覧表がある。 																																																

種目【道徳】(2/4)

調査内容	38 光村	116 日文																																																
1-(1) ・現代的な課題に問題意識をもち多面的・多角的に考えるための教材の内容、分量、構成、学習の進め方の提示等	<p>■現代的な課題に対応した教材数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いじめ関連</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>生命尊重</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>【いじめ関連教材の主な内容項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・C-11 公正、公平、社会正義(4) ・B-8 友情、信頼(2) ・A-1 自主、自律、自由と責任(1)等 ・複数の教材と活動等でユニットを編成し、目次に「いじめを許さない心について考える」と表記している。 ・読み物教材、漫画教材、体験的な学習、自分の考えを記述する欄を位置付けている。(例)1年 p.38、p.44 <p>■道徳科の学習の進め方</p> <p>巻頭に「道徳の学習を始めよう」のページを設け、道徳の学習のポイントを3つずつ示すとともに、4つの学習活動を記載している。</p>		1年	2年	3年	合計	いじめ関連	3	3	3	9	生命尊重	3	3	3	9	<p>■現代的な課題に対応した教材数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いじめ関連</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>生命尊重</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>【いじめ関連教材の主な内容項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B-8 友情、信頼(5) ・C-11 公正、公平、社会正義(5) ・A-1 自主、自律、自由と責任(3)等 ・複数の教材とコラムでユニットを編成し、目次と扉に「いじめと向き合う」と表記している。(例)1年 p.28 ・読み物教材、漫画教材、コラム、体験的な学習、別冊のノートに自分の考えを記述する欄を位置付けている。(例)1年 p.34 <p>■道徳科の学習の進め方</p> <p>巻頭に「道徳科での学びを始めよう！」のページを設け、学習の流れを3つのステップで記載し、ステップの試行として、ミニ教材を掲載している。</p>		1年	2年	3年	合計	いじめ関連	6	5	4	15	生命尊重	3	3	3	9																		
	1年	2年	3年	合計																																														
いじめ関連	3	3	3	9																																														
生命尊重	3	3	3	9																																														
	1年	2年	3年	合計																																														
いじめ関連	6	5	4	15																																														
生命尊重	3	3	3	9																																														
1-(2) ・取り上げられている教材の内容項目別の分量	<p>■視点ごとの教材数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A 自分</th> <th>B 人</th> <th>C 集団</th> <th>D 自然</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>12</td> <td>8</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>12</td> <td>7</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>11</td> <td>7</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> <p>■重点としている内容項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・C「公正、公平、社会正義」、D「生命の尊さ」(全学年に3教材) 		A 自分	B 人	C 集団	D 自然	合計	1年	7	6	12	8	33	2年	7	7	12	7	33	3年	9	6	11	7	33	<p>■視点ごとの教材数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A 自分</th> <th>B 人</th> <th>C 集団</th> <th>D 自然</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>14</td> <td>7</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>14</td> <td>8</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>15</td> <td>7</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table> <p>■重点としている内容項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・D「生命の尊さ」(全学年に3教材) ・C「社会参画、公共の精神」(1つの学年に3教材) 		A 自分	B 人	C 集団	D 自然	合計	1年	7	7	14	7	35	2年	6	7	14	8	35	3年	7	6	15	7	35
	A 自分	B 人	C 集団	D 自然	合計																																													
1年	7	6	12	8	33																																													
2年	7	7	12	7	33																																													
3年	9	6	11	7	33																																													
	A 自分	B 人	C 集団	D 自然	合計																																													
1年	7	7	14	7	35																																													
2年	6	7	14	8	35																																													
3年	7	6	15	7	35																																													
1-(3) ・登場人物に自我関与する学習、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習の位置付け	<p>【自我関与】全ての読み物教材に「考えよう」を設け、登場人物に自我関与を促す発問を位置付けている。(例)1年 p.14</p> <p>【問題】全ての学年で問題解決的な学習対応教材を4時間以上配置している。(例)1年 p.34</p> <p>【体験】全ての学年で役割演技を含めた体験的な学習対応教材を2時間以上配置している。(例)1年 p.70</p>	<p>【自我関与】全ての読み物教材に「考えてみよう」を設け、登場人物に自我関与を促す発問を位置付けている。(例)1年 p.11</p> <p>【問題】全ての学年で問題解決的な学習対応教材を4時間以上配置している。(例)1年 p.86</p> <p>【体験】全ての学年で役割演技を含めた体験的な学習対応教材を1時間以上配置している。(例)1年 p.22</p>																																																
2-(1) ・個で考え、議論する道徳の充実を図るための学習展開の構成	<p>■各教材の学習展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材最後の「考えよう」には、道徳的な問題を明らかにする発問、考えを深めるための発問、「見方を変えて」には別の立場や視点からの発問、「つなげよう」には、他の学習や生活とつなぐ発問を位置付けている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例)1年「2 父の言葉」P.12</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視点を示すマークと主題を位置付けている。 ・本文の前に二次元コードを位置付けている。 ・展開(2)終末(2)の過程に発問を位置付けている。 ・イラスト(3)、文章で構成している。 </div>	<p>■各教材の学習展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材最後の「考えてみよう」には、考え議論し、深めるための発問、「自分にプラスワン」には、自分を見つめて考えるための発問を位置付けている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例)1年「2 人のフリみて」P.12</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視点を示すマークと主題を位置付けている。 ・本文の前に二次元コードを位置付けている。 ・展開(1)終末(1)の過程に発問を位置付けている。 ・イラスト(4)、文章で構成している。 </div>																																																
2-(2) ・一人一人の学習状況等についての評価	<p>■学びの振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の巻末に「まなびの記録」があり、毎時間の授業で考えたことを記述したり、一年間の学習で心に残っていることや自分がいちばん成長したと思うところを内容項目と関連させながら振り返って記述したりするページを配置している。 	<p>■学びの振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年1教材1ページで構成された別冊の「道徳ノート」があり、自分との関わりで考えたことやこれから大切にしたいことを毎時間記述したり、学期の終わりに心に残っている授業やその理由、道徳科で学んだことを記述したりするページを配置している。 																																																
2-(3) ・ICT(二次元コード)の活用	<p>■二次元コードの個数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個数</td> <td>32</td> <td>28</td> <td>28</td> <td>88</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	合計	個数	32	28	28	88	<p>■二次元コードの個数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個数</td> <td>47</td> <td>47</td> <td>47</td> <td>141</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	合計	個数	47	47	47	141																												
	1年	2年	3年	合計																																														
個数	32	28	28	88																																														
	1年	2年	3年	合計																																														
個数	47	47	47	141																																														
3-(1) ・教科書の大きさ、ページ数、重量	<p>■大きさ：192mm×257mm</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B5変型判</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>総ページ</td> <td>184</td> <td>192</td> <td>192</td> </tr> <tr> <td>重量(g)</td> <td>341.3</td> <td>353.8</td> <td>354.3</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	B5変型判				総ページ	184	192	192	重量(g)	341.3	353.8	354.3	<p>■大きさ：182mm×257mm</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B5判</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>総ページ</td> <td>176</td> <td>184</td> <td>192</td> </tr> <tr> <td>重量(g)</td> <td>294.4</td> <td>307.7</td> <td>314.8</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	B5判				総ページ	176	184	192	重量(g)	294.4	307.7	314.8																
	1年	2年	3年																																															
B5変型判																																																		
総ページ	184	192	192																																															
重量(g)	341.3	353.8	354.3																																															
	1年	2年	3年																																															
B5判																																																		
総ページ	176	184	192																																															
重量(g)	294.4	307.7	314.8																																															
3-(2) ・文字の大きさ、字間、行間等	<ul style="list-style-type: none"> ・本文には、UDフォントを使用している。 ・UDデザインに配慮している。 ・本文直下、5行ごとに行番が付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文には、UDフォントを使用している。 ・UDデザインに配慮している。 ・本文直下、5行ごとに行番が付いている。 																																																
3-(3) ・目次、巻末資料等の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・目次には、教材の冒頭についている4つの視点のマークの説明を記載している。 ・巻末付録には4つの視点別の教材一覧表がある。 ・巻末付録には各学年の学びを補充する資料と、道徳科の授業で活用できる思考ツールを紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目次には、「多様性の尊重とSDGs」について考え合いたい5つのテーマを記号で記載している。 ・目次には「あすへのメッセージ」「視野を広げて」「学びを深めよう」について記号で記載している。 ・巻末には4つの視点別の教材一覧表がある。 																																																

種目【道徳】(3/4)

調査内容	224 学研	232 あか図																																																
1-(1) ・現代的な課題に問題意識をもち多面的・多角的に考えるための教材の内容、分量、構成、学習の進め方の提示等	<p>■現代的な課題に対応した教材数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いじめ関連</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>生命尊重</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>【いじめ関連教材の主な内容項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B-8 友情、信頼 (5) ・C-11 公正、公平、社会正義 (4) ・B-9 相互理解、寛容 (3) 等 <p>・いじめ問題に関する教材をユニット化せず、関連する教材ごとに「いじめ防止」のマークを表記している。(例)1年 p.22</p> <p>・読み物教材、漫画教材、自分の考えを記述する欄を位置付けている。(例)1年 p.25</p> <p>■道徳科の学習の進め方</p> <p>巻頭に「道徳科で学ぶこと考えること」のページを設け、複数の学習活動例やICTの活用方法、学習の進め方を4つのステップで記載している。</p>		1年	2年	3年	合計	いじめ関連	6	7	5	18	生命尊重	3	3	3	9	<p>■現代的な課題に対応した教材数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いじめ関連</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>生命尊重</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>【いじめ関連教材の主な内容項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・C-11 公正、公平、社会正義 (4) ・D-22 よりよく生きる喜び (2) ・D-19 生命の尊さ (1) <p>・複数の教材とコラムでユニットを編成し、目次と扉に『いじめ』を考える」と表記している。(例)1年 p.23</p> <p>・読み物教材、コラム、体験的な学習を位置付けている。(例)1年 p.34、p.36</p> <p>■道徳科の学習の進め方</p> <p>巻頭に「道徳科の時間は、『自分を見つめ、考え、生きる』時間」のページを設け、学年ごとの道徳の時間の意義や、学習の進め方を記載している。</p>		1年	2年	3年	合計	いじめ関連	3	2	2	7	生命尊重	3	3	3	9																		
	1年	2年	3年	合計																																														
いじめ関連	6	7	5	18																																														
生命尊重	3	3	3	9																																														
	1年	2年	3年	合計																																														
いじめ関連	3	2	2	7																																														
生命尊重	3	3	3	9																																														
1-(2) ・取り上げられている教材の内容項目別の分量	<p>■視点ごとの教材数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A 自分</th> <th>B 人</th> <th>C 集団</th> <th>D 自然</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>13</td> <td>7</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>12</td> <td>8</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>13</td> <td>7</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table> <p>■重点としている内容項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・D「生命の尊さ」(全学年に3教材) ・B「友情、信頼」(1つの学年に3教材) 		A 自分	B 人	C 集団	D 自然	合計	1年	8	7	13	7	35	2年	8	7	12	8	35	3年	8	7	13	7	35	<p>■視点ごとの教材数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A 自分</th> <th>B 人</th> <th>C 集団</th> <th>D 自然</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>12</td> <td>8</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>12</td> <td>8</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>12</td> <td>8</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table> <p>■重点としている内容項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A「自主、自律、自由と責任」、B「思いやり、感謝」、D「生命の尊さ」(全学年に3教材) 他1項目 		A 自分	B 人	C 集団	D 自然	合計	1年	8	7	12	8	35	2年	8	7	12	8	35	3年	8	7	12	8	35
	A 自分	B 人	C 集団	D 自然	合計																																													
1年	8	7	13	7	35																																													
2年	8	7	12	8	35																																													
3年	8	7	13	7	35																																													
	A 自分	B 人	C 集団	D 自然	合計																																													
1年	8	7	12	8	35																																													
2年	8	7	12	8	35																																													
3年	8	7	12	8	35																																													
1-(3) ・登場人物に自我関与する学習、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習の位置付け	<p>【自我関与】全ての読み物教材で、登場人物の心情、判断や言動の理由を考える発問を位置付けている。(例)1年 p.12</p> <p>【問題】全ての学年で問題解決的な学習対応教材を4時間以上配置している。(例)1年 p.22</p> <p>【体験】全ての学年で体験的な学習対応教材を1時間以上配置している。(例)1年 p.104</p>	<p>【自我関与】全ての読み物教材に「自分との対話」を設け、自分との関わりで考える発問を位置付けている。(例)1年 p.13</p> <p>【問題】全ての学年で問題解決的な学習対応教材を2時間以上配置している。(例)1年 p.14</p> <p>【体験】1年生で役割演技を含めた体験的な学習対応教材を配置している。(例)1年 p.90</p>																																																
2-(1) ・個で考え、議論する道徳の充実を図るための学習展開の構成	<p>■各教材の学習展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材の最初に、主題に関わるフレーズを位置付けている。教材最後の「考えよう」には、展開で中心となる発問と、自分を見つめて考える発問を位置付けている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例)1年「5 あるピエロの物語」P.26</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視点を示すマークを位置付けている。 ・本文の前に二次元コードを位置付けている。 ・展開(1)終末(1)の過程に発問を位置付けている。 ・イラスト(6)、文章で構成している。 </div>	<p>■各教材の学習展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材の最後に、「自分を見つめて考える」発問、「いろいろな見方で考える」ための発問、「考えを深める」には、さらに考えを深めるための発問、「自分との対話」には、自分に問い直す発問を位置付けている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例)1年「12 ネット将棋」P.54</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視点を示すマークを位置付けている。 ・本文の前に二次元コードを位置付けている。 ・展開(2)終末(1)の過程に発問を位置付けている。 ・イラスト(2)、文章で構成している。 </div>																																																
2-(2) ・一人一人の学習状況等についての評価	<p>■学びの振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の巻末に「学びのメモ」と「学びの記録」があり、日々の道徳の授業で気付いたことを書き留めたり、学期ごとに心に残った授業の感想や学んでよかったこと、これからの生かしたいことを振り返って記述したりするページを配置している。 	<p>■学びの振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の巻末に「学習の記録」があり、学期の終わりや学年末に心に残った授業とその理由を記述したり、一年間で最も深く考えた授業とその理由や自分が成長したと思うこと、これからの自分に生かしていきたいことを記述したりするページを配置している。 																																																
2-(3) ・ICT(二次元コード)の活用	<p>■二次元コードの個数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個数</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>41</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	合計	個数	14	14	13	41	<p>■二次元コードの個数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個数</td> <td>14</td> <td>17</td> <td>19</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	合計	個数	14	17	19	50																												
	1年	2年	3年	合計																																														
個数	14	14	13	41																																														
	1年	2年	3年	合計																																														
個数	14	17	19	50																																														
3-(1) ・教科書の大きさ、ページ数、重量	<p>■大きさ：210mm×257mm</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>AB判</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総ページ</td> <td>187</td> <td>191</td> <td>195</td> </tr> <tr> <td>重量(g)</td> <td>358.0</td> <td>365.9</td> <td>372.6</td> </tr> </tbody> </table>	AB判	1年	2年	3年	総ページ	187	191	195	重量(g)	358.0	365.9	372.6	<p>■大きさ：182mm×257mm</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>B5判</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総ページ</td> <td>184</td> <td>184</td> <td>184</td> </tr> <tr> <td>重量(g)</td> <td>320.4</td> <td>319.3</td> <td>319.6</td> </tr> </tbody> </table>	B5判	1年	2年	3年	総ページ	184	184	184	重量(g)	320.4	319.3	319.6																								
AB判	1年	2年	3年																																															
総ページ	187	191	195																																															
重量(g)	358.0	365.9	372.6																																															
B5判	1年	2年	3年																																															
総ページ	184	184	184																																															
重量(g)	320.4	319.3	319.6																																															
3-(2) ・文字の大きさ、字間、行間等	<ul style="list-style-type: none"> ・本文には、UDフォントを使用している。 ・UDデザインに配慮している。 ・本文直下、5行ごとに行番が付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文には、UDフォントを使用している。 ・UDデザインに配慮している。 ・本文直下、5行ごとに行番が付いている。 																																																
3-(3) ・目次、巻末資料等の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・目次は4つの視点別に教材を色分けしている。 ・目次には教材の冒頭についている4つの視点のマークの説明を記載している。 ・巻末には4つの視点別の教材一覧表がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目次には、教材の冒頭についている4つの視点のマークの説明を記載している。 ・巻末付録には4つの視点別の教材一覧表がある。 ・巻末付録にはSDGsと郷土に関連する資料がある。 																																																

種目【道徳】(4/4)

調査内容	233 日科																								
1-(1) ・現代的な課題に問題意識をもち多面的・多角的に考えるための教材の内容、分量、構成、学習の進め方の提示等	<p>■現代的な課題に対応した教材数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いじめ関連</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>生命尊重</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>【いじめ関連教材の主な内容項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・C-11 公正、公平、社会正義(4) ・A-5 真理の探究、創造(2) ・B-8 友情、信頼(2)等 <p>・いじめ問題に関する複数の教材をユニット化せず配置している。</p> <p>・読み物教材、自分の考えを記述する欄、体験的な学習を位置付けている。(例)1年 p.64、p.82</p> <p>■道徳科の学習の進め方</p> <p>巻頭に「クラスのみならず『道徳授業』を創り出そう」を設け、道徳の学習の進め方とその試行、ウェルビーイングカードの使い方を記載している。</p>		1年	2年	3年	合計	いじめ関連	4	4	3	11	生命尊重	2	2	1	5									
	1年	2年	3年	合計																					
いじめ関連	4	4	3	11																					
生命尊重	2	2	1	5																					
1-(2) ・取り上げられている教材の内容項目別の分量	<p>■視点ごとの教材数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A 自分</th> <th>B 人</th> <th>C 集団</th> <th>D 自然</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>13</td> <td>6</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>15</td> <td>6</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>14</td> <td>3</td> <td>34</td> </tr> </tbody> </table> <p>■重点としている内容項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A「自主、自律、自由と責任」、B「思いやり、感謝」、C「遵法精神、公德心」(全学年に2教材)他5項目 		A 自分	B 人	C 集団	D 自然	合計	1年	8	7	13	6	34	2年	7	6	15	6	34	3年	9	7	14	3	34
	A 自分	B 人	C 集団	D 自然	合計																				
1年	8	7	13	6	34																				
2年	7	6	15	6	34																				
3年	9	7	14	3	34																				
1-(3) ・登場人物に自我関与する学習、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習の位置付け	<p>【自我関与】全ての読み物教材に「考えよう」を設け、心情や自分の考えを問う発問を位置付けている。(例)1年 p.11</p> <p>【問題】全ての学年でウェルビーイングカードを活用した問題解決的な学習対応教材を配置している。(例)1年 p.16</p> <p>【体験】全ての学年でウェルビーイングカードを活用した体験的な学習対応教材を配置している。(例)1年 p.36</p>																								
2-(1) ・個で考え、議論する道徳の充実を図るための学習展開の構成	<p>■各教材の学習展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材最後の「考えよう」には、本時の中心となる発問、「深めよう」には、さらに考えを深めるための発問を位置付けている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(例)1年「1 稲村さんの苦悩」P.8</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視点を示すマークを位置付けている。 ・本文の前に二次元コードを位置付けている。 ・展開(1)終末(1)の過程に発問を位置付けている。 ・イラスト(2)、文章で構成している。 </div>																								
2-(2) ・一人一人の学習状況等についての評価	<p>■学びの振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年、各教材の最後のページに「memo」欄があり、授業で気付いたことや自分の考えを自由に記述することができる。また、巻末付録のウェルビーイングカードを使って考えたり話し合ったりしたことを記述するページを配置している。 																								
2-(3) ・ICT(二次元コード)の活用	<p>■二次元コードの個数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個数</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>14</td> <td>62</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	合計	個数	24	24	14	62														
	1年	2年	3年	合計																					
個数	24	24	14	62																					
3-(1) ・教科書の大きさ、ページ数、重量	<p>■大きさ：210mm×257mm</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>AB判</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総ページ</td> <td>156</td> <td>160</td> <td>164</td> </tr> <tr> <td>重量(g)</td> <td>321.1</td> <td>328.5</td> <td>334.5</td> </tr> </tbody> </table>	AB判	1年	2年	3年	総ページ	156	160	164	重量(g)	321.1	328.5	334.5												
AB判	1年	2年	3年																						
総ページ	156	160	164																						
重量(g)	321.1	328.5	334.5																						
3-(2) ・文字の大きさ、字間、行間等	<ul style="list-style-type: none"> ・本文には、UDフォントを使用している。 ・UDデザインに配慮している。 ・本文直下、5行ごとに行番が付いている。 																								
3-(3) ・目次、巻末資料等の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・目次は4つの視点別に教材を色分けしている。 ・目次には教材の冒頭についている4つの視点のマークの説明を記載している。 ・巻末付録には郷土資料と「ウェルビーイングカード」の補助教材がある。 																								